

# 農活in信州

～長野県で農業を始めたい人 応援します～

長野県新規就農ガイドブック

長野県  
(公社) 長野県農業担い手育成基金  
長野県新規就農相談センター

# 目次

I	農業を始める3つの道	2
II	独立就農を考えるにあたっての留意点	2
III	独立就農までのステップ	3
	Step 1 相談	4
	Step 2 体験	5
	Step 3 熟慮	6
	Step 4 決断	10
	Step 5 就農目標と研修計画	11
	Step 6 研修	12
	Step 7 営農計画	19
	Step 8 確保	21
IV	新規就農向け営農類型の試算【参考】	24
V	地域・農業のネットワーク	28
VI	新規参入で就農されたみなさん	29
VII	独立就農するにあたっての適性・知識チェックシート	31
VIII	長野県就農支援情報WEBサイト「デジタル農活信州」	33
	長野県の就農相談窓口	34
	長野県農畜産物マップ	裏表紙

## この資料のお問い合わせ先

長野県農政部農村振興課担い手育成係

〒380-8570 長野県長野市大字南長野字幅下692-2

TEL：026-235-7243 FAX：026-235-7483

E-mail：noson-ninaite@pref.nagano.lg.jp

# I 農業を始める3つの道

## 「なぜ、農業をやりたいのか」「どんな農業を目指したいのか」

これらを常に自分に問いかけ、家族との話し合いや農業体験等を通じて進みたい道を考えよう。

### ① 経営者として独立し、自営の農業を始める（独立就農）

- 主として農業の所得で生計を立てる。
- 自分のやりたい農業を実現させる。

### ② 農業法人等へ就職して従業員として農業に携わる（法人就業）

- 給与を得て農業に従事する。
- 農作業だけでなく、自身の特技や経歴を活かせる場合もある。
- 技術を身に付け、将来独立就農する道もある。



### ③ 家庭菜園や副業として農業に関わる（農ある暮らし等）

- 本業や生活とのバランスをとりながら農業に従事する。
- 自分らしいライフスタイルを実現させる。

# II 独立就農を考えるにあたっての留意点

## 農業は魅力的でやりがいのある産業！

- ・ 四季の変化を感じながら自然の中で働く
- ・ 生き物を育てる喜び
- ・ 人間にとって不可欠な「食」を守る
- ・ 努力次第で道が開け様々な可能性がある
- ・ ライフスタイルや年代に応じて働くことができ、生涯現役が可能 などなど

## でも、農業に飛び込む前に、自分の本当の気持ちを冷静に見つめよう！

短絡的な思いつきや憧れ、今の仕事や生活から逃れるような現実逃避型の就農ではうまくいかない。後悔しないように、家族などの理解や協力が得られるように、じっくり考えよう。就業者は仕事を辞める前に相談しよう。

### ① 自分に向いているか？

- 性格や体力など農業への適応、農村社会への適応などの確認。

### ② 障壁やリスクを理解しているか？

- 技術習得や経営が安定するまでに時間を要する。
- 災害のリスク（霜やひょう、台風など）が高く、収入が不安定になり易い。
- 特に無農薬栽培や有機農業は経営リスクが高いのが一般的。周囲の農家の同意も必要。

### ③ 独立就農は起業。経営者になれるか？

- 独立就農は会社を興して社長になる事と同じ。やる気と能力、やり方次第で収益に大きな差が出る。
- 資本・労力・販路の確保、それらの管理（マネジメント）など経営者能力を常に磨く必要あり。
- 経営者は全てに責任を持ち、かつ社会的責務が発生。

### ④ 資金の準備ができるか？

- 農業は初期の設備投資に相応の資金が必要。全て借入に頼るのではなく、一定の自己資金が必要。
- 研修中や就農後経営が軌道に乗るまでの間、生活資金の確保が必要。

### ⑤ コミュニケーション力はあるか？

- 「地域社会の一員」として、共同作業や農村特有の伝統行事などへの参加が求められる。
- 「地域とのかかわり」がうまく出来ないと、農地の確保や経営発展は難しい。

## Ⅲ 独立就農までのステップ

Step 1

相談

まずは情報や基礎知識を収集しよう

- ・ 農業を始める第一歩は農業を知ることから。
- ・ 情報を集め、まずは相談してみよう。

Step 2

体験

農作業や農村の暮らしを体験しよう

- ・ 体験によりイメージと現実のギャップを埋める。

Step 3

熟慮

就農前後でどのような「壁」があるのかを理解しよう

- ・ 就農前後の課題やリスクを知り、決断の前に深く考える。

Step 4

決断

覚悟をもう一度確認しよう

- ・ 「農業を始める」ことは、「経営者になる」こと。
- ・ 課題やリスクを十分に理解し、家族と一緒に覚悟を再確認！

Step 5

就農目標  
と  
研修計画

目指す農業を明確にし、就農に向けたスケジュールや研修計画を立てよう

- ・ 目標を決め、いつまでに何をするか明確にする。
- ・ 品目、就農地、研修方法を決め、目標と計画に基づき再度確認・決断！

Step 6

研修

栽培技術や経営知識、コミュニケーション力を身につけよう

- ・ 「技術者＋経営者」としてのスキルを身につける。
- ・ 研修期間中に地域に馴染み、仲間を作る。

Step 7

営農計画

営農計画を立てよう

- ・ 早めに具体的な営農計画を立てる。

Step 8

確保

就農に必要なものを確保しよう

- ・ 農地、施設・機械、住宅、資金の全てを確保する。



**就農！ 新たなスタート!!**

●各ステップは、同時進行あり。

●軌道修正はある。そのたびに確認・決断！



# 相談 まずは情報や基礎知識を収集しよう

- あなたが農業に向いているか十分な情報収集を行い、あなた自身の責任で職業として選択する可能性を見極めていくことが必要です。
- 「長野県の農業について教えて」「農業は儲かるの?」「農業を始めるには何が必要なの?」「農村の暮らしってどんなもの?」など、疑問やわからないことをまずはご相談ください。

## 1 就農相談のポイント

- なぜ農業をしたいのか、どこでどんな農業をしたいのか、語れるようにする。
- 相談先を変え、複数の意見を聞く（セカンドオピニオン）。
- 相談は回数を重ね、時には時間をおいて考える時間をとり、自分の考えを整理する。
- 既婚者は夫婦一緒に相談する。
- 厳しい意見に耳を傾け、十分に理解する。

## 2 情報や知識の収集方法

### (1) インターネットの就農情報サイト

長野県：「デジタル農活信州」HP  
（長野県）➡ P33参照



全国：「農業をはじめる.JP」HP  
（全国新規就農相談センター）



### (2) 相談会やセミナーに参加する

- 長野県や市町村・JA等が行う相談会等に参加
- 「新・農業人フェア」や「マイナビ農林水産FEST」などの就農相談イベントに参加



長野県市町村・JA合同就農相談会

### (3) 相談を申し込む

- 農業・農村や就農について幅広く相談したい、情報収集したい方  
【長野県での就農全般】
  - ・公益社団法人 長野県農業担い手育成基金 ➡ 「長野県内の就農相談窓口」 P34
 【地域に係わらず就農相談全般】
  - ・全国新規就農相談センター  
TEL：03-6910-1133 メール相談：「農業をはじめる.JP」HPから
- 長野県での就農や県の研修制度に興味がある方、農作業や就農体験をしたい方
  - ・長野県農業大学校研修部の就農コーディネーターへ  
➡ 「長野県内の就農相談窓口」 P34
- 希望する就農地が決まっている方
  - ・各地域の農業農村支援センターの就農コーディネーターへ  
➡ 「長野県内の就農相談窓口」 P34
- 地域の実情や就農支援情報の収集、農地・住宅の確保を考えている方
  - ・市町村、JAへ



## 体験 農作業や農村の暮らしを体験しよう

- 体験を重ねることで、漠然とした農業に対する「イメージ」と「現実」とのギャップを埋めましょう。自問自答しながら、就農への決意を固めていきます。自分にとって合わないとわかったら方向転換する勇気も必要です。
- 体験を通じて将来の具体的な農業経営像（イメージ）を描き、品目・就農地域を絞り込みます。

### 1 就農体験研修

農業に興味を持ち、数年以内に長野県内での就農を考える方（他産業従事者、離職者、学生など）を対象に農業の入門的研修を実施しています。就農への目的・目標を明確にするお手伝いをします。

- 問い合わせ先および研修場所：長野県農業大学校研修部 → 「長野県内の就農相談窓口」 P34

- (1) 研修内容  
ア 農業大学校研修部の水田、畑、果樹園を活用した農作業の体験  
イ 1ターン新規就農者、優良経営農家等事例発表の聴講  
ウ 就農コーディネーターによる就農相談
- (2) 研修日程等 1泊2日で年6回程度。宿泊施設有。実費徴収。
- (3) 募集人員 20名/回（定員になり次第締切）



### 2 ワーキングホリデー

ボランティアで農家の農作業を手伝う。都市住民で農作業や農村生活を体験したい方と、農繁期の手助けを必要としている農家を結びつけ、田舎暮らしのリアル体験ができるグリーンツーリズム（市町村等が実施）。

### 3 パート・アルバイトで体験

休日を利用し、近くの農業法人や農家で働く。農業の現状を知る有効な機会になる。農業は短期間に作業が集中することが多く、数日単位でも人手を求めている農業者は少なくない。

- 農家のサポート事業・お手伝い事業などに申し込む。（市町村・JA・農業公社などが実施）
- 1日単位でマッチングをするアプリを探す。
  - ・ 1日農業バイトアプリ「day work」は、こちらのQRコード
- 親戚・知人などのツテを頼る。



### 4 県・市町村・JA等が行う現地見学会、体験イベントなどに参加

- 「デジタル農活信州」HP イベント情報などをチェック

### 5 その他

市民農園やクラインガルデン（滞在型農業体験施設）、棚田オーナー制度、りんごオーナー制度などを活用する。（市町村・農業公社・農業者などが実施）

### Step 3

## 熟慮

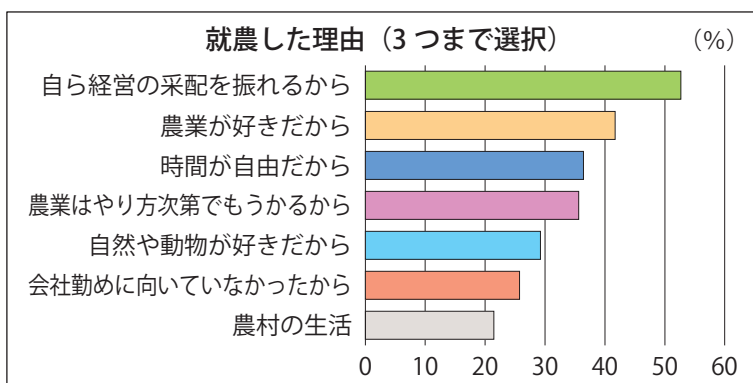
就農前後でどのような「壁」があるのかを理解しよう

- 就農時や就農後には、様々な「壁」が何度も現れます。
- どのような課題やリスクがあるのか、新規就農者の現状について理解を深めましょう。
- その上で、家族と十分に話し合い、ご自分の進む道を決めてください。

非農家出身の新規参入者（就農後概ね10年以内）を対象としたアンケート結果より、その現状と課題を紹介します。

- 出典：「新規就農者の就農実態に関する調査結果 ー令和6年度ー」  
（一般社団法人全国農業会議所・全国新規就農相談センター 令和7年3月）  
※特別に記載がない限り、全国の調査結果。

### 1 就農の動機



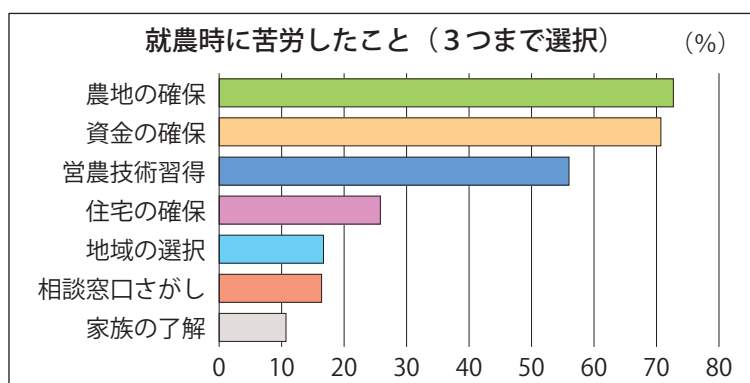
好きなことを自分の意思で実践し稼ぎたいと考える方が多い。



### 2 就農時に苦労したこと

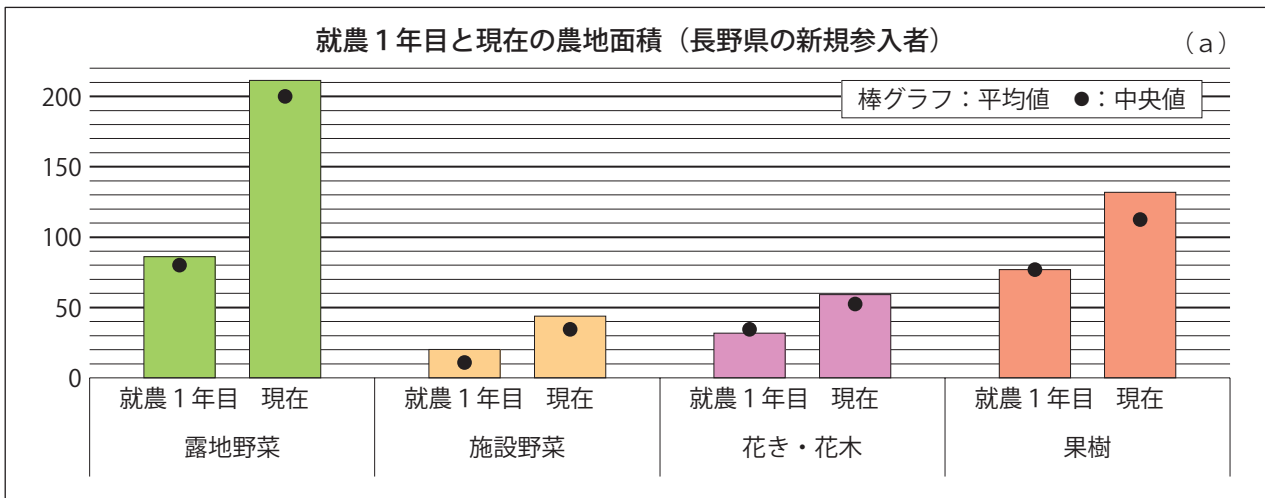
半数以上の方が就農時に苦労したこととして挙げたのは、農地・資金・技術の3つ。次いで住宅の確保となっている。

- ➔ 対処方法は  
「Step 7 営農計画」  
「Step 8 確保」参照



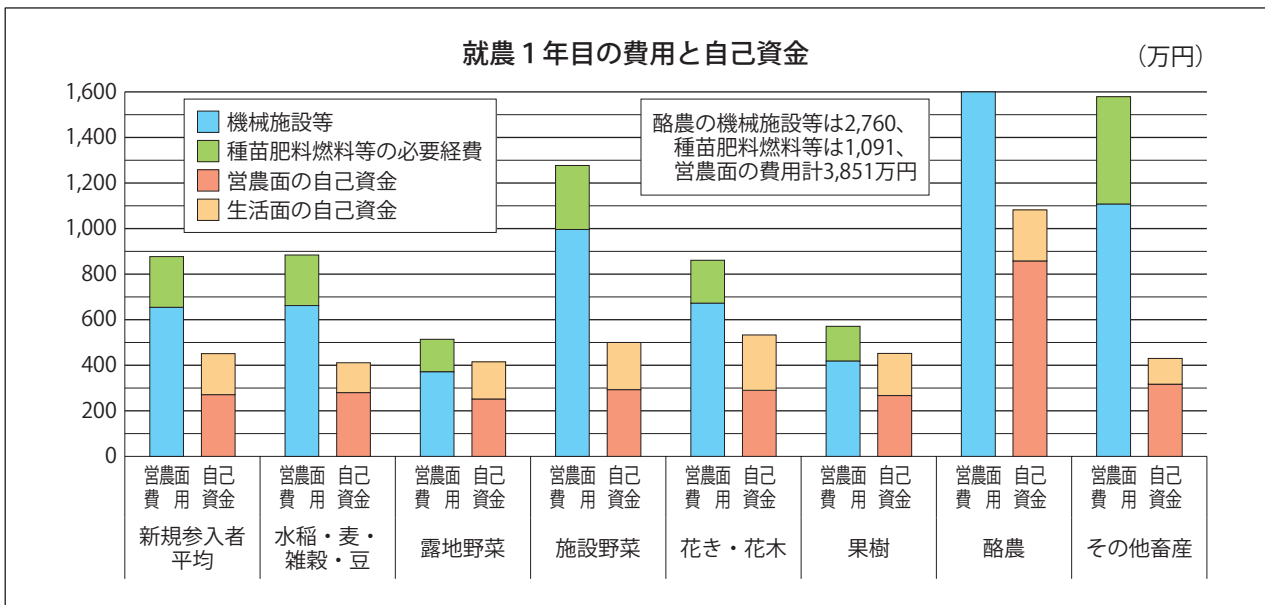
#### (1) 農地の確保

- 就農時に、十分な規模の農地や条件の良い農地が確保できるケースは少ない。
- ほとんどの新規参入者は農地を借りてスタートするが、農家は知らない相手には貸したがないのが一般的。
- 地域の信頼を得ることで、次第に農地が集まってくる。



注 1) 「現在」は調査時点であり、就農後の経過年数は対象者により異なる。  
 2) 平均値は上位10%、下位10%を除外した平均値。

## (2) 資金の確保

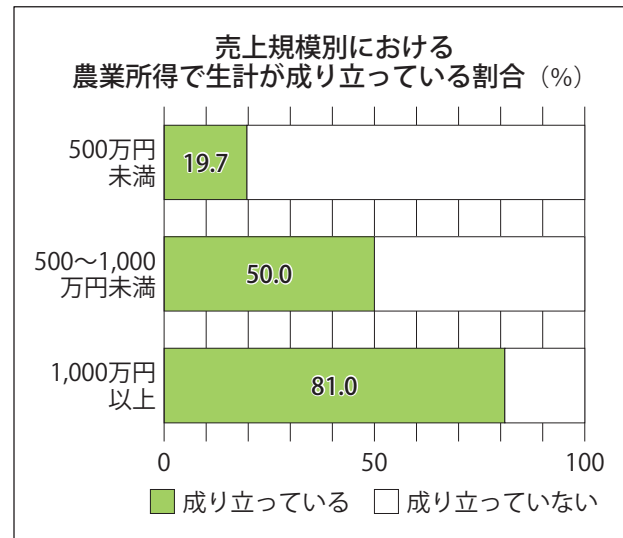
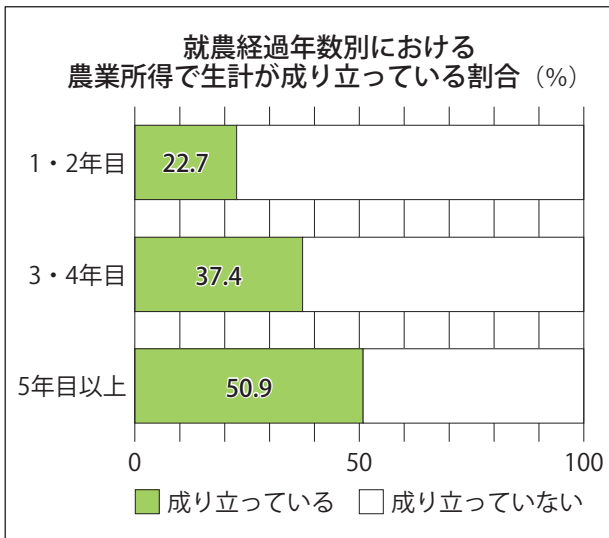


- 就農時に要した営農面の費用（機械・施設等の費用と種苗・肥料・燃料等の必要経費の計）は平均で877万円。その内、3割に当たる271万円を自己資金で調達。生活面で準備した自己資金180万円と合わせて、1年目に準備した自己資金は451万円。
- 作目により必要とする費用は大きく異なる。
- 49歳以下の過半数が資金の借り入れを行っている。
- 営農費用だけでなく、就農準備期間から経営が軌道に乗るまでの生活費をどのように確保するかを十分に検討する必要がある。

## (3) 技術の習得

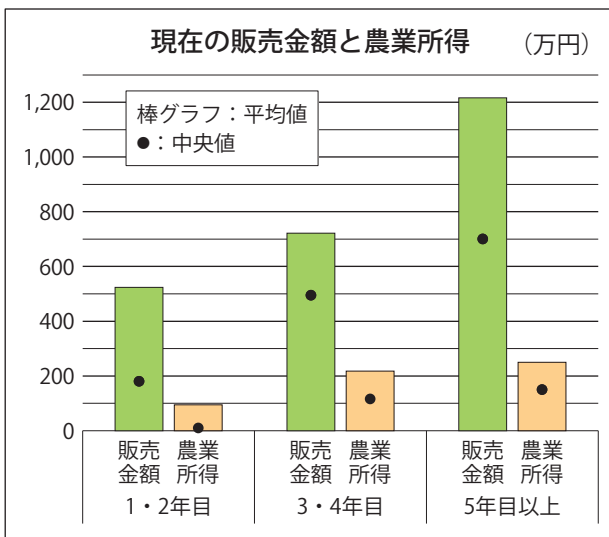
- 先進農家等のもとでの実践的な研修を一定期間行うことが重要。（「Step 6 研修」を参照）
- 1年に1～2作しかできない農業は、短期間での技術習得は難しい。
- 研修に当たっては、「自分の知識」や「こだわり」を一旦白紙に戻し、素直な心で学べるかどうかを問われる。

### 3 農業所得で生計が成り立つめど

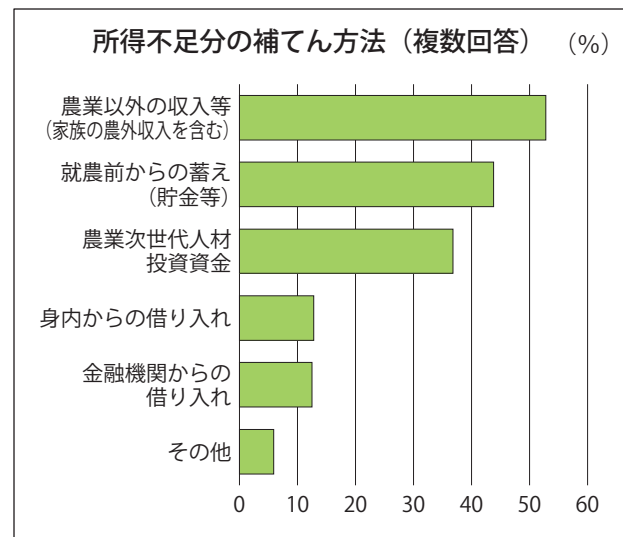


注) 都道府県の集計結果

- 就農後数年は所得が上がらないのが一般的だが、5年以上経っても「農業所得で生計が成り立っている」と答えた方は5割にすぎない。
- 売上規模別では、売上が1,000万円以上になると8割が「生計が成り立っている」と回答。売上高1,000万円が目標の一つと言える。



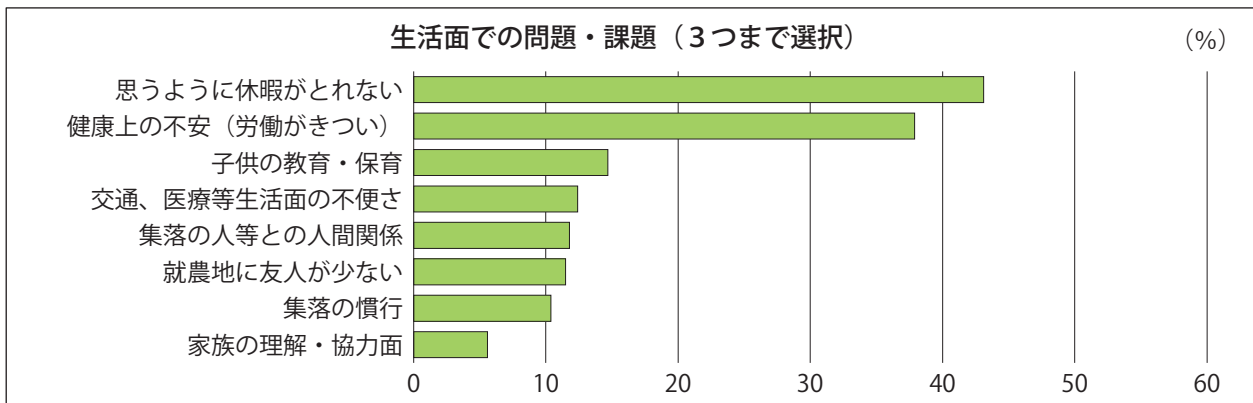
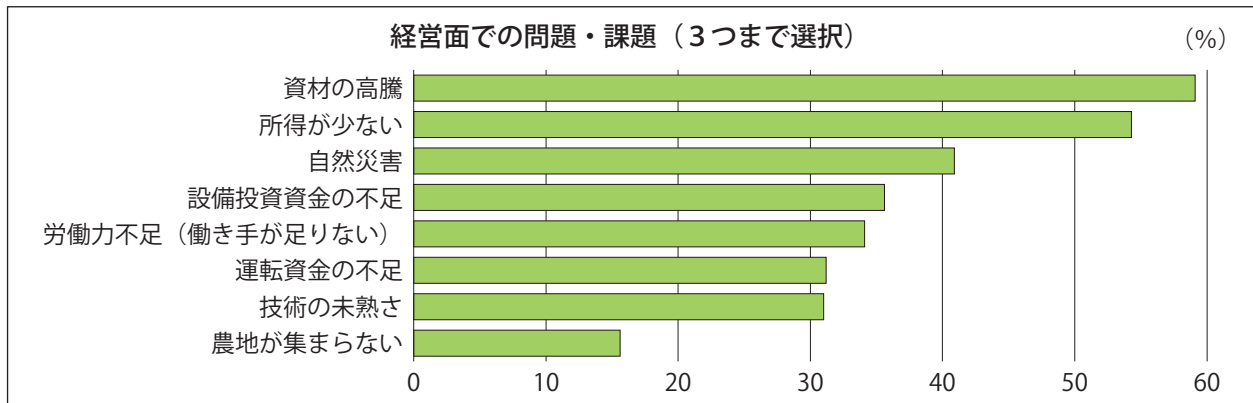
注) 平均値が中央値に比べて大きい理由は、売上・所得が極端に高い経営があるため。



注) 「農業次世代人材投資資金」は現在の「新規就農者育成総合対策」(R7年度現在)。

- 販売金額と農業所得は、就農後の経過年数が長くなるにつれて増加。
- 就農後5年目以上の販売金額は、平均値1,216万円だが中央値は700万円。売上1,000万円以上の割合は約1/3となっている。
- 就農後5年目以上の農業所得は、平均値250万円、中央値150万円。
- 販売金額、農業所得共にバラつきが大きい。
- 所得の不足分の補てんは、農業以外の収入、国からの給付金、蓄えが多い。国の給付金には要件や審査あり、全員が受給できるわけではない。
- 農業以外で収入を確保するには、農閑期の仕事を探せるか、家族の協力が得られるかが課題。

## 4 現在の課題



### (1) 経営面での問題・課題

- 経営面での課題のトップは「資材の高騰」。
- 2位の「所得が少ない」要因として、「自然災害」「技術」「資金」「労働力」の不足などがあげられる。

### (2) 生活面での問題・課題

- 「休暇がとれない」「健康上の不安（労働がきつい）」が大きな課題。段取り能力を身に着け、効率良く作業をこなせるようにならないと解決は難しい。
- 人間関係、人付き合いに関する課題も多い。地域コミュニティに馴染めそうもない、という方は農業への道を再検討する。



### 農業でよく使う 面積の単位を覚えよう

1 a = 100㎡ ≒ 30.3坪	約 1 畝（いっせ）
10 a = 1,000㎡	約 1 反（いったん）
1 ha = 100 a = 10,000㎡	約 1 町（いっちょう）

※単位の後に歩（ぶ）を付ける場合もある。例：1町歩  
 ※収量、売上、所得などを10a当たりで表して比較することが多い。



### 1年間の生活費は どのくらい？

総務省家計調査2024年による（総世帯の平均）

<長野市>	1世帯（2.21人）の年間消費支出 2,866千円（1人当たり1,297千円）
<大都市>	1世帯（1.86人）の年間消費支出 3,252千円（1人当たり1,748千円）

※税金や社会保険料等は含まない。  
 ※長野市は調査数が多くないので参考とする。

## Step 4 決断 覚悟をもう一度確認しよう

- 「農業を始める」ということは、起業して「経営者になる」ことです。
- 決断をする前に、「Step 3 熟慮」を踏まえて、家族と一緒にもう一度、自分たちの覚悟をチェックしてください。

### 👉 Check 1 農業のリスクや厳しさを理解しましたか？

- 農業を始めるには、かなり大きい金額の投資が必要。
- 経営が軌道に乗り利益が出るまでには年数がかかり、その間の生活費が必要。
- 霜・ひょう・暑さや寒さ・台風・大雪などの気象災害、予期せぬ病害虫の発生、鳥や獣による被害など様々なリスクがあり、時として大被害になる。
- 農産物の市場価格変動、生産資材や燃油コストの高騰などによる所得の減少もある。
- 簡単には望む価格で買ってもらえない。
  - ➔ 十分な準備や対策、経営努力が必要になります。

### 👉 Check 2 家族の理解と協力が得られますか？

- 農村へ移住することは、子供の転校、住み慣れた場所との別れ、気候の違い、都会とは異なる不便さなど、家族で環境の大きな変化を受け入れなければならない。
  - ➔ 激変する環境の変化について家族でしっかり話し合い、理解と同意を得ましょう。
- 農業は一人より二人の方が格段に作業の効率が良い。
  - ➔ 家族にも農業の楽しさやリスクを理解してもらい、忙しい時だけでも手伝ってもらえれば、経営にとって非常に大きなメリット。
- 一人で全てを抱え込むのは精神的にも負担が大きい。
  - ➔ 苦しい時期に、あなたを支えてくれる家族を大切にしましょう。



### 👉 Check 3 農村社会で暮らせますか？

- 農村には古くからの伝統やしきたりが残っており、農作業以外にも様々な行事や共同の作業がある。馴染みにくい風習や習慣もあるかもしれない。
  - ➔ 地域の人と上手に暮らしていくためには、積極的に行事や作業に参加し、コミュニケーションをとることが大切。農業経営も地域の信頼を得ることで発展します。

### 👉 Check 4 農業を始める「信念」がありますか？

- 「今の仕事が合わないから」、「都会ではなく大自然の中で生活したいから」などの理由だけでは農業経営は困難。
  - ➔ 経営を始めるには、「自分は〇〇したいから農業じゃなきゃダメなんだ」という「信念」を持つことが必要。この「信念」が、苦しい時期を耐え、「目標」の実現に向かって粘り強く進む原動力になります。「目標」があれば、困難を乗り越えることにやりがいや喜びを感じるようになります。



## Step 5 就農目標と研修計画

目指す農業を明確にし、就農に向けたスケジュールや研修計画を立てよう

- やりたい農業のイメージを明確にし、目標を定め、いつまでに何をするかスケジュールを立てましょう。
- 目標に沿って、品目、就農地、研修方法を決めましょう。
- 作成した目標と計画で良いかどうか、家族ともう一度確認しましょう。
- 就農候補地での相談を重ね、研修の準備を進めます。



### Check 1 経営作目（作物）は何か、どのような栽培方法・規模・販売で行うか

- 作目や経営の特性を知る。
- 自分と相性が良い作目や経営スタイルを見つける。
- 経営者の考え方により、栽培方法や販売方法は大きく異なる。

たとえは

作目は……人により向き不向きがある。新規参入に向かない品目もある。  
規模は……水稲や露地野菜は大規模な農地が必要。施設栽培は高額な初期投資が必要。  
働き方は……年間を通して農業に従事する。夏はモーレツに働き冬はゆっくりする働き方など。  
販売方法は…JA出荷。独自で販路確保や配達・発送など。

- その地域のお勧め品目や、「産地」と呼ばれる地域の品目は、適地適作で販売力があるものが多い。
- 人気の品目は、農地の確保や販売面において競争が激しくなる。
- 複合経営や多品目栽培は将来目標とし、研修中は品目を絞って学ぶ。



### Check 2 就農地はどこにするか、住宅・農地は確保しやすいか

- 作物を決め、その作物に適した候補地を選定する。
- または、以前から馴染みのある地域、親戚・知人との縁のある地域などを候補にする。
- 家族との生活を考え、生活環境にも配慮。
- 候補地に何度も足を運ぶ。夏の暑さ、冬の寒さや雪など四季の様子を体感する。
- 農地や住宅が確保しやすいかどうかとも要チェック。



### Check 3 栽培技術や経営者としてのスキルをどうやって習得するか

- 技術習得のための研修期間は最低でも2年間で望ましい。
- 相談を通じて、自分に適した研修方法を決める。 → 「Step 6 研修」へ



### Check 4 研修中の生活費、就農時の資金などをどのように確保するか

- 研修中の生活費、就農時の初期費用・就農後所得が上るまでの間の生活費など、必要金額を試算。
- 研修をしても資金がなければ始められない。どのように調達するか計画を立てる。

- ★ Check 1～3から研修先が絞られる → 「Step 6 研修」へ
- ★ 「Step 7 営農計画」、「Step 8 確保」も参照



## Step 6 研修 栽培技術や経営知識、コミュニケーション力を身につけよう

- 「技術者＋経営者」としてのスキルを身につけなければ、独立就農はできません。
- 研修期間中は地域に馴染む期間でもあります。
- 地域の方や行政、JA等に相談しながら進めることが就農への早道です。



### Point 1 自分にあった研修方法、研修先を選ぶ

- 行政やJA等とじっくり相談。
- 受講の目的、かけられる時間、生活資金の有無などに応じて研修方法を選ぶ。
- 新規参入による独立就農では、最低2年間程度の研修を行う。
- 研修先の農業者は、就農後も相談し続ける先生。時間をかけて決める。



### Point 2 研修で学ぶもの

- 播種～栽培管理～収穫・出荷、土作り、機械整備など一連の作業を2サイクル以上学ぶ。
- 今までの知識や経験をいったん白紙にして学ぶ。  
その地域の気候や土壌条件に基づいた特有の技術がある。  
家庭菜園での技術と、販売を目的とする大面積での技術は大きく異なる。
- 立地や気象条件などに応じた栽培の「応用力」を身につける。
- 経営知識、経営管理の方法、経営者の理念や姿勢を学ぶ。
- 農家生活を知る。
- 行政やJA等が行う研修や講座にも積極的に参加する。



### Point 3 コミュニケーション力を身につけ、地域に馴染む

- 研修段階から地域の人や市町村・JAなどに「顔」を知ってもらう。
- 農業者のグループ等に積極的に加わる。交流を通じて仲間や相談相手を作る。



#### コラム 運転免許について

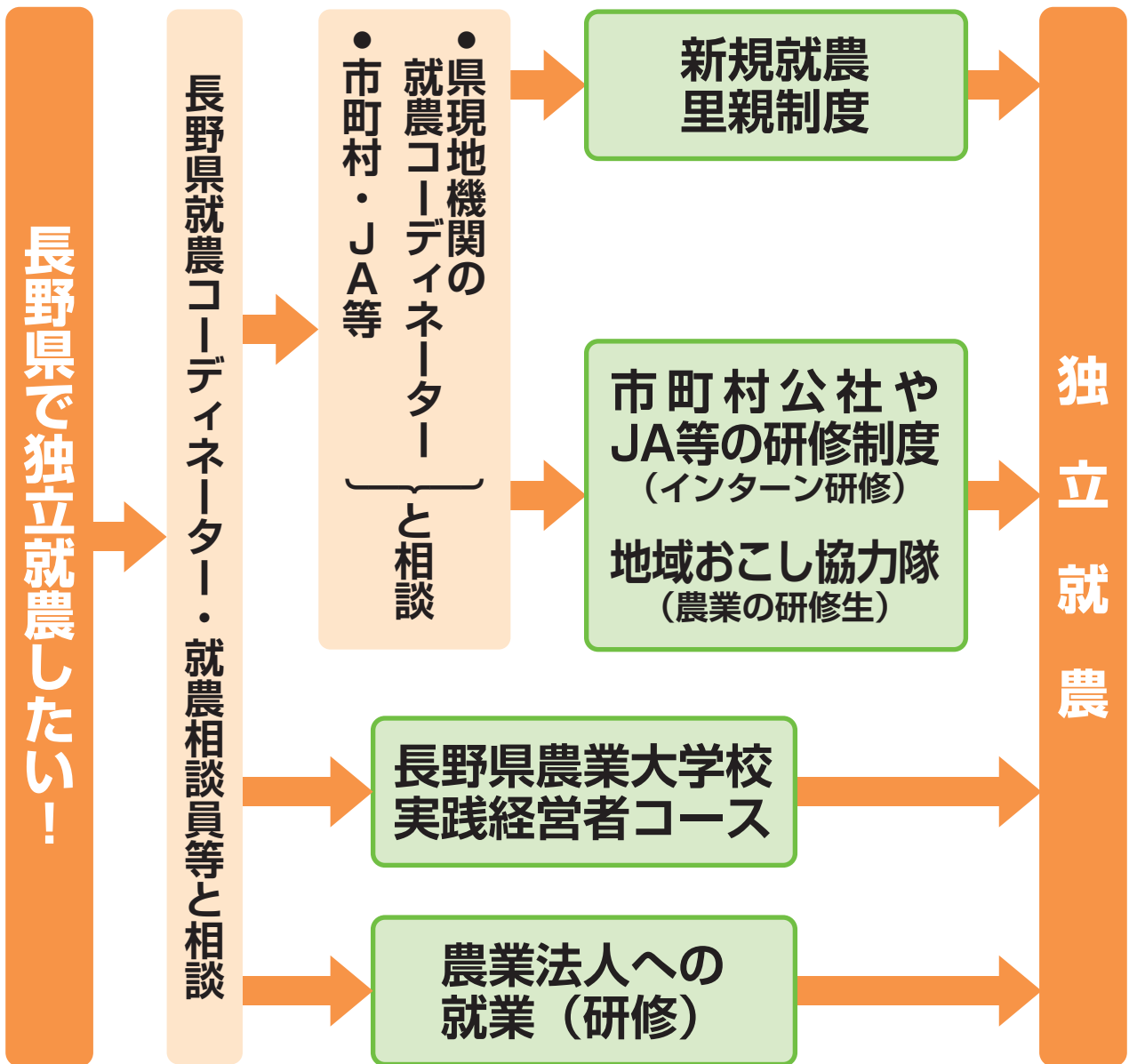
- 農家にとって軽トラックは必須。研修先の軽トラも、これから購入する中古車も、マニュアル車の可能性が高い。AT限定免許の場合は解除を要検討。
- 大型トラクターの公道走行には大型特殊免許が必要。トラクターの大きさやけん引を伴うかなどで必要な免許の種類が異なるので要チェック。



#### コラム 地元の農業情報のチェック

- 毎月発行のJAの広報誌は、地元の農業情報が満載。農業を行っていない場合でも、准組合員になることができれば、JAの広報誌が配布されるなど情報が入りやすくなる。
- 県の農業農村支援センターは、毎年各種の講座を開催している。相談により顔見知りとなった担当者に、情報を流してもらうように頼んでおこう。HPもチェック！

独立就農するための研修の種類



## 1 新規就農里親制度（長野県が行う独自の研修制度）

### (1) 新規就農里親前基礎研修

県農業大学校研修部において、就農希望者のニーズに基づき講義と農家実習等を組み合わせ、効率的に栽培技術と経営管理技術を習得する研修です。

- 1 **対象者** 県内で独立就農を目指す者（里親研修受講希望者含む）
- 2 **研修期間** 4月から翌年3月までの1年間
- 3 **募集人員** 20名程度（宿舎あり）
- 4 **研修内容** 各種作物の栽培・経営管理など基礎知識・技術の習得、先進農家での農作業研修、先輩農家・農業関連企業等の視察学習 等

※ハウス、畑をお貸ししますので、学んだことを実践し、栽培から販売までの技術、知識を実習により習得することをお手伝いします。

※地域のリーダー的農家で農作業実習をし、農業と地域生活の基本を身につけます。

### (2) 新規就農里親研修

| ターン者等の新規就農希望者の就農支援に積極的な熟練農業者である「里親（農業者）」のもとで、農業経営を開始するための実践的な知識・技術等を習得する研修です。

- 1 **対象者** 県内で独立就農を目指す者（新規就農里親前基礎研修修了者含む）
- 2 **研修期間** 原則2年間（1月あたり15日以上かつ60時間以上であり年間1,200時間以上）
- 3 **里親数** 392人（令和7年4月現在：野菜、果樹、花き、作物、畜産、きのこ等）
- 4 **開始時期** 4月
- 5 **研修内容** 里親農業者のもとで、独立就農するために必要な実践的栽培・経営管理技術を習得します。また、県農業大学校研修部で、農業機械・機器の取扱やマーケティング等の補完的な専門研修を実施します。
- 6 **里親農業者からの現地支援内容**  
里親農業者の支援を受けながら研修中から就農に向けた準備をします。
  - ・仲間づくりや地域との関係構築の支援
  - ・農地・住宅等の確保支援
  - ・就農後の相談活動、営農支援
- 7 **その他** 新規就農里親研修を検討中の方を対象とした「**就農トライアル研修**」を実施しています。1回あたり3～7日間、最長10日間の短期研修です。

### 【新規就農里親制度の研修パターン】

1年目 新規就農里親前基礎研修  
2年目 新規就農里親研修

または

2年間 新規就農里親研修

【**研修経費**】最初の1年間は、月額14,000円（年168,000円）を県にお支払いいただき、県が指導謝金を上乘せして、里親農業者へ交付します。

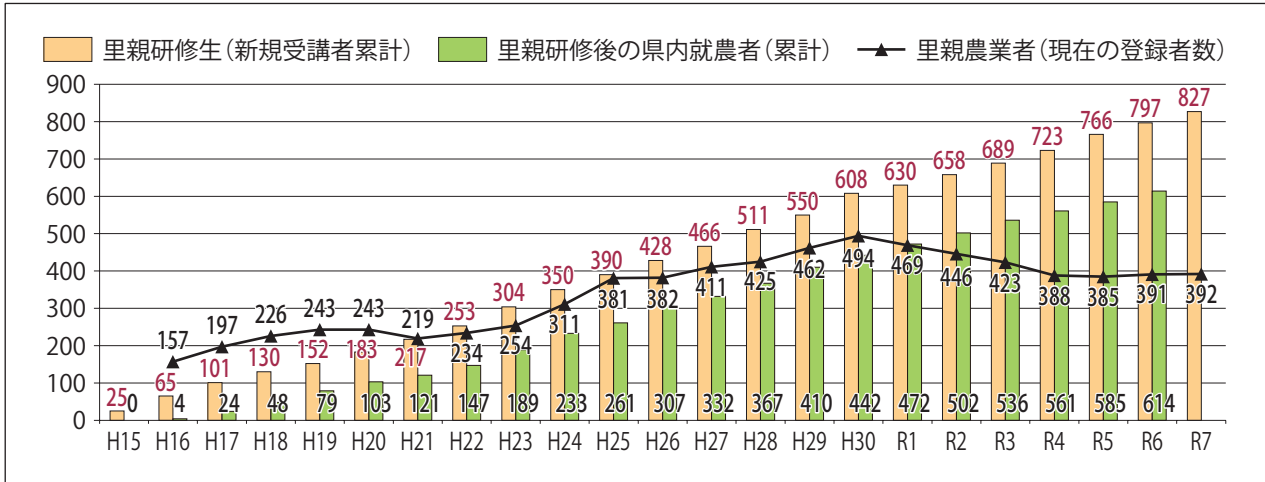
農業大学校研修部（小諸市）が実施する研修への交通費・研修教材費・宿泊費等、研修里親農業者のもとへの交通費等は自己負担です。

【**その他**】本研修は、国の「新規就農者育成総合対策（就農準備資金）」の対象となる研修です。（別途要件及び審査あり）

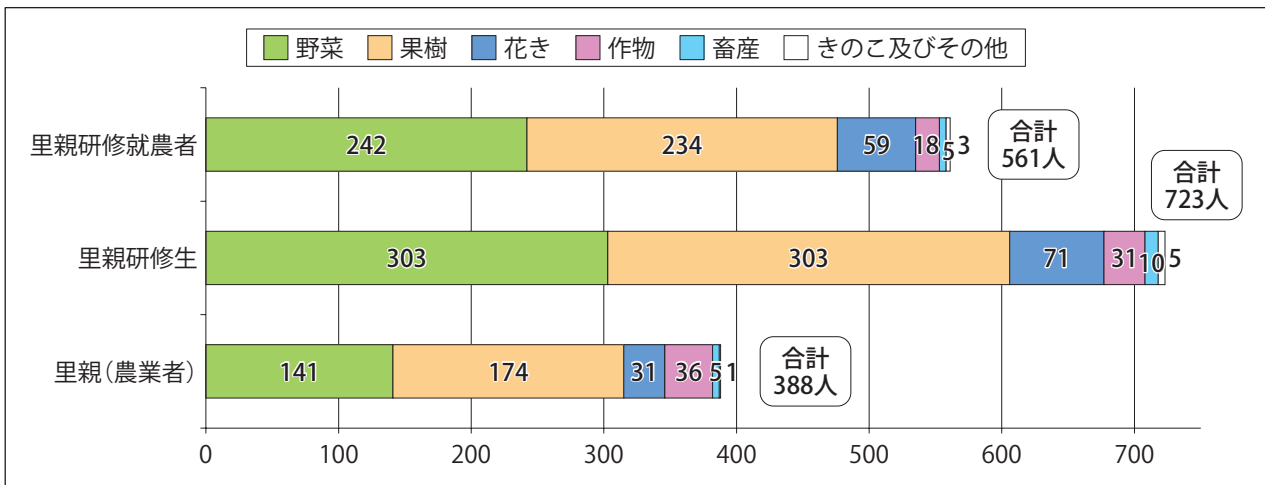
# 新規就農里親制度（里親研修）の概況

【R7.4.1現在】

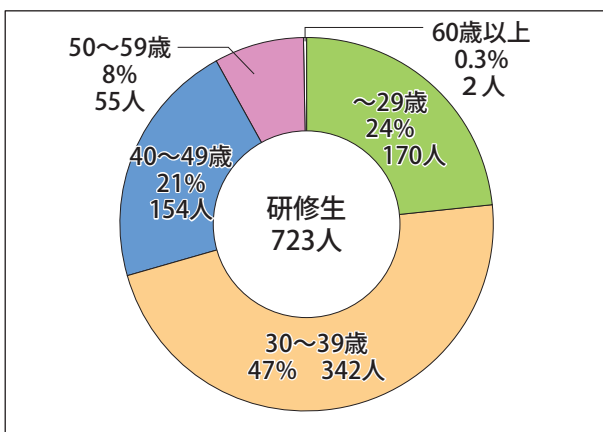
## 里親農業者数と研修生の推移



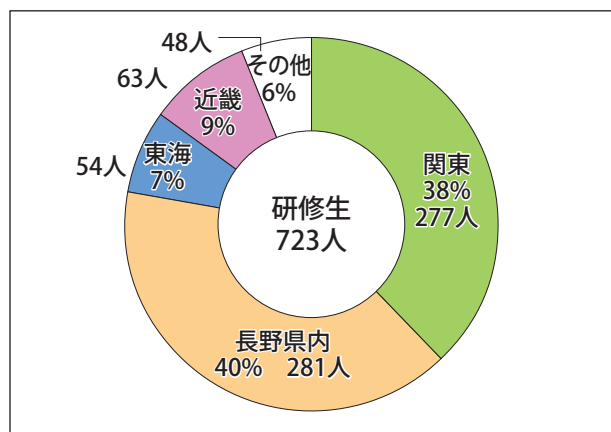
## 作物別里親農業者・研修生の数



## 里親研修生の研修開始年齢



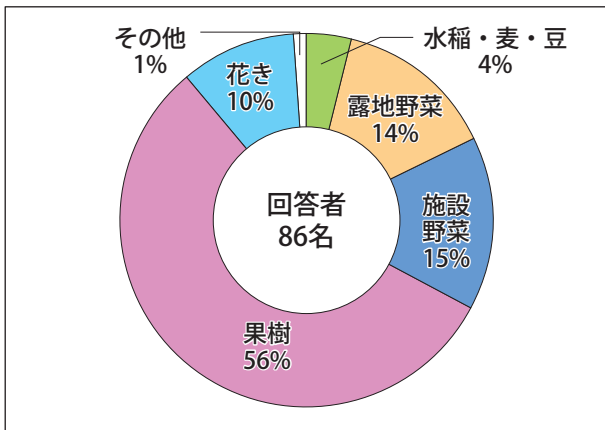
## 里親研修生の出身地



## 就農後の里親研修生の状況

(調査対象：里親研修を修了し、平成26年度から平成30年度に就農した者)

売上1位の経営品目の割合

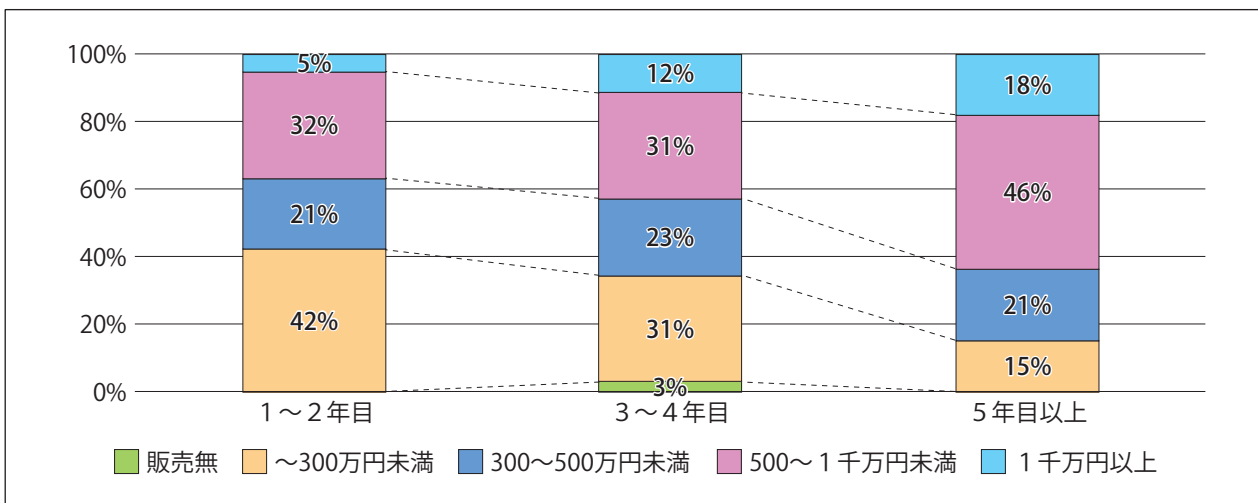


農業経営開始時の経営面積

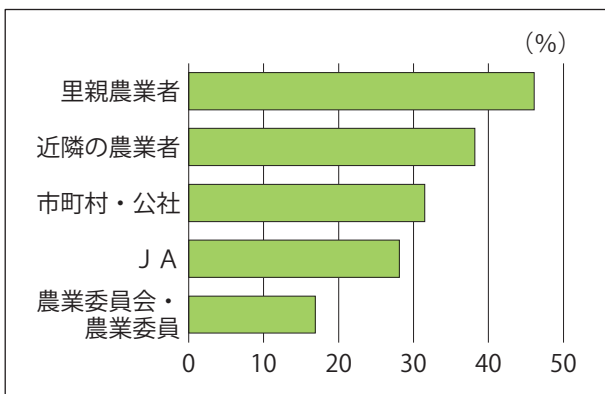
作目	集計件数	面積 (a)
露地野菜	12	70.8
施設野菜	13	19.5
果樹	46	78.8
りんご専作	13	96.3
ぶどう専作	20	58.9
花き	9	16.7

注) 果樹は未成園の面積を含む。

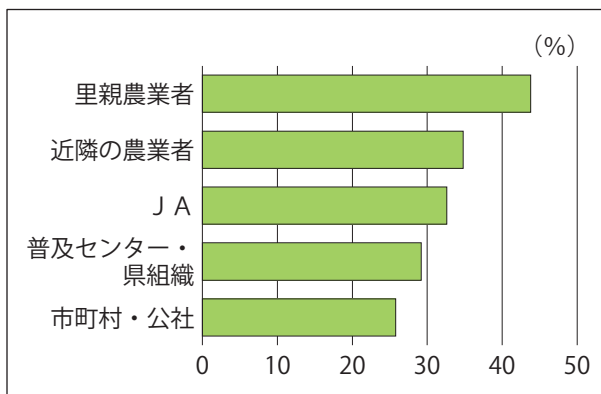
就農経過年数別販売金額の割合



農地確保において役立ったと回答した修了生の割合 (支援・指導先別) (トップ5)



就農後の支援・相談全般において役立ったと回答した修了生の割合 (支援・指導先別) (トップ5)



## 2 インターン研修（市町村公社、JA・JA子会社等）・地域おこし協力隊

- 独自の研修カリキュラムに基づき研修する。
- 研修地域内で就農する。
- インターン研修の種類によっては、臨時職員として給与がある場合や手当・支援金が支給される場合がある。概ね1～3年間。
- 市町村が、農業の研修生を地域おこし協力隊として募集する場合がある。雇用形態や給与（または報償費）は市町村の募集要領による。概ね1～3年。
- いずれも、採用には面接・審査がある。開始時期や条件等をよく確認。事前に相談。

問い合わせ：インターン研修 → 研修を行う市町村・JA・JA子会社等  
地域おこし協力隊 → 募集を行う市町村

### 地域おこし協力隊とは（総務省HPより）

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を異動し、地域ブランドや地場製品の開発・販売・PR等の地域おこし支援や、農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る取組です。隊員は各自治体の委嘱を受け、任期は概ね1年から3年です。

- 地域おこし協力隊 募集情報

→「地域おこし協力隊 ニッポン移住・交流ナビJOIN」で検索



## 3 長野県農業大学校 実践経営者コース

卒業後、すぐに自立し、将来的には企業的農業経営者となる人材を養成します。

このコースでは、これからの農業経営者に求められる知識、能力を「4つの力（人間力・生活力・経営力・技術力）」に集約し、実践的な講義、実習、そして模擬経営、または長期先進農家実習を通じ、徹底的に身につけていただきます。

- (1) **対象者** 農家子弟、新規参入希望者（1ターン者等）、農業法人スタッフ等
- (2) **期間** 2年
- (3) **募集人員** 10人
- (4) **研修内容**

ア 農業経営体験実習（1年次）：県内の先進農家で延べ100日の体験

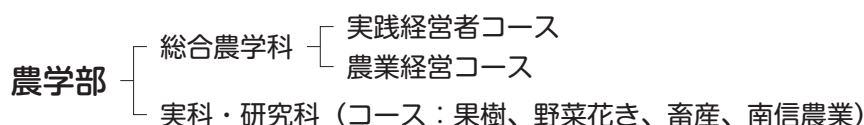
イ 農産物マーケティング実習：県内の流通業者、直売施設、販売業者等で体験

ウ 農業経営実習（2年次）：自ら経営者となって一定規模で生産から販売まで行う模擬経営、または先進農家での長期実習の実施

エ 支援内容：就農支援スタッフと担当教授が、卒業後スムーズに農業経営が開始できるようサポート

問い合わせ：長野県農業大学校 → 「長野県内の就農相談窓口」 P34

農業大学校は次のような学科構成となっています。他のコースについてもお問い合わせください。



## 4 農業法人への就業（研修）

- 農業法人等で従業員として働きながら技術を学ぶ。
- 独立就農を支援する農業法人かどうかよく確認する。
- 事前に見学や短期のインターンシップ研修などを行い、どのような法人かよく調べる。
- 雇用条件などを十分に確認する。

### ■ 農業に特化した求人情報サイト

#### ● 県内

- ・ 公益社団法人長野県農業担い手育成基金 → 「長野県内の就農相談先一覧」 P 34

- ・ J A長野県農業労働力支援センター

TEL：026-236-2019（J A長野中央会 営農支援センター内）

「【J A長野県グループ】長野県の『農業のお仕事』検索サイト」

<https://entori.jp/naganoken-nogyou>



#### ● 民間の主な農業求人サイト

- ・ 農業ジョブ <https://agrijob.jp>
- ・ あぐりナビ <https://www.agri-navi.com/>
- ・ 農家のおしごとナビ <https://www.agreen.jp/>

### ■ 県内各地のハローワーク（長野・松本には農林漁業就職支援コーナーがあります）

- ・ ハローワークインターネットサービス <https://www.hellowork.mhlw.go.jp/>



## 参考 公益社団法人長野県農業担い手育成基金の無料職業紹介所における求職活動の流れ

### 1 相談及び求職票の提出

求職をご検討の方と当紹介所の職員とで就業相談を行います。求人に応募をご希望の方は「求職票」をご提出ください。

### 2 情報の提供

当紹介所で農業法人等から提出された求人情報を閲覧することができます。ホームページに求人情報一覧表を掲載しています。条件に合う法人等をご紹介します。まずは見学や体験をお勧めしています。

### 3 求人への応募

紹介の手続きを行いますので、必ず紹介所までご連絡ください。

### 4 紹介

当紹介所から応募先に「紹介状」を交付します。

### 5 選考

求人者の指示に従って「履歴書」などを提出してください。面接にあたっては、雇用条件等について疑問が残らないよう担当者に十分確認してください。

### 6 採否の結果

採否の結果は求人者から直接連絡されます。連絡があり次第、当紹介所へ採否の結果を報告してください。



## Step 7 営農計画 営農計画を立てよう

- 早めに（就農予定時期の1～2年前程度から着手）具体的な営農計画を立てましょう。
- 計画の作成過程で、準備が必要なこと、足りないところなどが明らかになります。
- 5年後の目指す農業経営の姿を明確に描くことが必要です。

### 1 営農計画の内容

- 経営理念、経営の目的・目標
- 目標所得の設定
- 次のような項目について具体的な計画を作成
  - 作目・規模：作目及び品種構成、生産規模
  - 農地：購入（借入）先、購入時期、借入期間、地代
  - 施設・機械等：機械及び施設の種類、導入方法
  - 資金：必要額、調達先、担保・保証人、償還計画
  - 労働力：繁忙期等の雇用の有無、労働力の確保方法
  - 生産・作業：目標とする生産量・品質、導入技術、作業の時期・内容
  - 販売：販売先、販売方法、販売単価、販売量、代金の回収
  - 収支：収支計算、資金繰り、生活費、税金



### 2 計画作成のポイント（⇒「Step 8 確保」も参照）

- 家族のライフプラン（子どもの進学など）に見合った所得（売上－経費）目標の設定。
- 経営面積は作業可能な面積から始める。機械・施設の装備は必要最小限で。
- 自己資金をできるだけ準備。（初期投資、運転資金、生活費）。
- 借金は返済が見込める金額に留める。家族からの資金協力も視野に入れる。
- 必要に応じ農業以外の収入計画も立てる
  - \* 長野県では、農閑期の冬場の仕事として、果樹棚修繕やパイプハウス建設の手伝い、道路の除雪、スキー場勤務などがある。仕事の確保には地元でのつてが重要。
- 各種支援制度を活用する場合でも、給付金をどれだけ営農資金に回せるかがポイント。
- 背伸びは禁物。営農計画を「絵に描いた餅」にしない。
  - \* 当面（3年程度）の経営規模当たりの生産量はベテラン農業者の6～8割程度で見積もり。
  - \* 初年度の労働時間はベテラン農業者の1.5～2倍を見込む。

#### ■ 計画作成の参考データ

- 県で策定している農業経営指標（※地域の中核農業者向け）  
[https://www.pref.nagano.lg.jp/nogi/keiei/keiei\\_list.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/nogi/keiei/keiei_list.html)  
詳細は農業農村支援センターへ問い合わせ
- 研修先の経営データ（教えてもらえるようになるう！）

## 参考 青年等就農計画認定制度

新たに就農しようとする者が、経営目標や就農準備のための計画等を一定の様式に記載した「青年等就農計画」を市町村長に提出し、承認を受ける制度です。

この制度で認定を受けた方や法人は「認定新規就農者」となり、下記のようなメリットがあります。

また、これらメリットを活かすために、もっと早い段階で（たとえば研修段階等）で認定を受けた方が良い場合もあります。

### 認定を受けることのできる対象者

対象者は、新たに農業経営を営もうとする青年等で、以下に当てはまる方です。

- 青年（原則18歳以上45歳未満）
- 特定の知識・技能を有する中高年齢者（65歳未満）
- 上記の者が役員の過半数を占める法人

※農業経営を開始して一定の期間（5年）を経過しない者を含みます。認定農業者は含みません。

### 青年等就農計画の作成・認定の流れ

- 新規就農者が青年等就農計画を作成し、就農予定地の市町村に提出
- 市町村が同計画を審査・認定
- 市町村は青年等就農計画を認定後、当該計画申請者に通知
- 市町村、都道府県等関係機関により、計画達成をフォローアップ

### 認定のメリット

- 新規就農者育成総合対策（経営開始資金・経営発展支援事業）の給付・助成対象となる可能性があります（別に審査があります）
- 新規就農者に対する無利子資金制度（青年等就農資金）の貸付対象（別に審査があります）
- 経営所得安定対策など、国の施策の対象となることがあります

### 相談窓口

- 認定主体の市町村（農政担当の課や係）

### 計画策定の留意点

青年等就農計画認定申請書の様式にはありませんが、経営収支、労働時間は重要です。

- 長野県では農業経営指標を目安として示していますので参考にしてください。  
[https://www.pref.nagano.lg.jp/nogi/keiei/keiei\\_list.html](https://www.pref.nagano.lg.jp/nogi/keiei/keiei_list.html)
- 労働時間については経営指標の値より多くかかる場合が多いので、多めに見積もってください。
- 生活費も含めた最低でも今後5年間の収支計画をたててください。





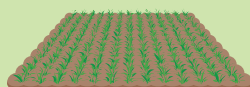
## 確保 就農に必要なものを確保しよう

- 就農するには、「農地」「農業用機械・施設」「住宅」「資金」のすべての確保が必要です。
- 確保にあたり、制度を活用する場合は要件等をよく確認し、農村地域の慣習についても理解しましょう。下記の留意点に注意して早めに準備を行いましょう。

### 農地

相談窓口

- 市町村農業委員会
- 市町村農業公社
- J A
- 長野県農業開発公社
- 長野県農業会議



### 農業用機械・施設

相談窓口

- J A
- 市町村
- 販売店



### 住宅

相談窓口

- 市町村  
(空き家バンクなど)
- 不動産業者



### 資金

相談窓口

- 農業農村支援センター
- J A
- 市町村
- 金融機関



モノや技術以外に確保したいもの → 仲間、信頼

## 1 農地を確保するには

農地を買ったり、借りたりするには、農地法、農業経営基盤強化促進法等に基づき、農業委員会の許可等が必要となります。

### 【農地の権利移動の要件（買ったり、借りたりするには）】

#### I 通常

- ア 【全部効率利用要件】 農地のすべてを効率的に利用して耕作を行うこと
- イ 【農作業常時従事要件】 個人の場合は農作業に常時従事すること
- ウ 【農地所有適格法人要件】 法人の場合は農地所有適格法人であること
- エ 【地域との調和要件】 周辺の農地利用に悪影響を与えないこと

#### II 解除条件付き貸借（上記イ、ウを満たさない場合）

上記ア、エを満たすこと。これに加えて、

- オ 書面による解除条件付きでの契約
- カ 地域の農業における他の農業者との適切な役割分担の下に継続的かつ安定的に農業経営を行うと見込まれること
- キ 法人の場合（農地所有適格法人を除く）役員等の1人以上が耕作又は養畜の事業に常時従事すること

注：IIの場合、毎年、利用状況を農業委員会へ報告しなければいけません。適正に利用しない場合、最終的には許可を取り消されることとなります。

※なお、詳細につきましては、市役所・町村役場内の「農業委員会事務局」にお問い合わせください。

- 研修中から、受入農家や市町村、JA等の協力を得て早めに農地を探す。(取得時期については、助成事業を受けている場合はその要件をよく確認してから)
- 農地の購入は資金がかかるため、借りてスタートするのが一般的。
- まずは確保できる農地で経営を開始し、徐々に条件に見合った農地を集積していく。
- 地域からの信頼が得られれば、「農地を借りないか?」といった話が自然に増えてくる。
- 宿根性作物(アスパラガスなど)や花木、果樹を新植する、施設を設置するなどの場合は、将来地主から返還を求められる場合も考え慎重に検討。
- 圃場条件、周囲の環境を十分にチェック。

例：凍霜害や台風被害に遭いやすい場所か、日照条件、土壌条件、水利権、機械が通れるか、鳥獣害の有無、住宅が隣接(騒音や農薬の飛散などに注意)など

## 2 農業用機械・施設を確保するには

- 当初は必要最小限でスタート。
- 借りて使う工夫も大切。数戸共有で購入するケースもある。
- 中古農機や農家の遊休農機、離農農家の農機の活用を積極的に検討し、JAや販売店、近隣の農家等でこまめに情報の収集。
- 作業場や倉庫(農業には必須)がどうしても確保できなければ、ビニールハウスを設置するなどに対応。

## 3 住宅を確保するには

- 市町村の空き家バンク等に相談。
- 地域の人との信頼関係を築くことで見つけやすくなる。
- 農業に適した住宅の流通(売買・貸借)数は多くない。時間に余裕を持って探す。空き家は補修費に要注意。
- 作業場や倉庫に使える建物があれば理想的。

## 4 資金を確保するには

### (1) 自己資金など

- できる限り自己資金を準備するのが基本。
- 協力が得られれば、家族・親族などからの贈与、無利子の借入なども活用。

### (2) 公的な融資制度(制度資金)の活用

(認定新規就農者などを対象とした無利子または低金利の融資制度)

- 農業農村支援センター、JA等融資機関、市町村などへ相談
- 認定新規就農者が申請の要件になっている場合は、先に認定新規就農者の認定を受ける必要がある。
- 融資に一定の期間を要するため、経営改善資金計画等の書類を計画的に作成する。

➔ 制度金融の詳細については必ず最新情報を確認のこと

「認定新規就農者」等を対象とした制度資金

(R 8. 3. 18)

資 金 名		貸付対象者	貸 付 対 象	金利	限 度 額	償還（据置） 期 間
就 農 時	日本政策金融公庫 青年等 就農資金	認定新規 就農者	農業経営の開始に必要な経費（種苗、家畜、資材、施設、機械等） ※土地購入費除く	無利子	3,700万円 (特例1億円)	17(5)年以内
	農協 ・ 銀行等 農業近代化 資金	認定新規 就農者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地・牧野の改良・造成</li> <li>・農地等の利用権取得</li> <li>・農機具等の賃借権の取得</li> <li>・果樹等の新植・改植・育成</li> <li>・家畜の購入・育成</li> <li>・農産物の生産・流通・加工・販売施設、その他農業経営改善施設の改良・造成・取得</li> </ul>	1.65～ 2.50	個人 1,800万円 法人 2億円	15(7)年以内  ただし 認定新規就農者は 17(5)年以内
	日本政策金融公庫 経営体育成 強化資金	認定新規 就農者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地・牧野の改良・造成</li> <li>・農地・採草牧草地等の取得</li> <li>・農地等の利用権取得</li> <li>・農機具等の賃借権の取得</li> <li>・果樹等の新植・改植・育成</li> <li>・家畜の購入・育成</li> <li>・農産物の生産・流通・加工・販売施設、その他農業経営改善施設の改良・造成・取得</li> </ul>	2.50	個人 1億5,000万円 法人 5億円	25(3)年以内

※金利等最新情報をご確認のうえ活用してください。

※「償還（据置）期間」は各資金における最長の期間を掲載しています。

# Ⅳ 新規就農向け営農類型の試算【参考】

- 長野県「農業経営指標 令和4年」のデータを基に一部修正し、就農5年目を想定して試算。
- 一部の品目は目標収量を1～2割下げて設定。
- 令和4年以降の資材価格の変動は考慮していない。
- 施設・機械等の価額は全て新築・新品購入として計算。補助金の活用無し。
- 労働時間は熟練者を想定した数値。実際にはより多くの労働時間がかかる（特に就農直後）。
- 本人及び家族の旬別労働時間を1人当たり70時間とし、それを超える分は雇用労働として労賃を計上。  
※下記の営農類型はあくまで試算であり、実際の収支は環境、技術、個人の能力等により大きく変動する。

## 1 りんご専作

<b>経営面積</b>	<b>計 110a</b> (内、高密度植新植 20a)
内訳	
ふじ(普通樹)	40a (成園を借地)
つがる(新わい化)	30a (成園を借地)
シナノスイート(新わい化)	20a (成園を借地)
ふじ(高密度植わい化)	20a (借地に新植)

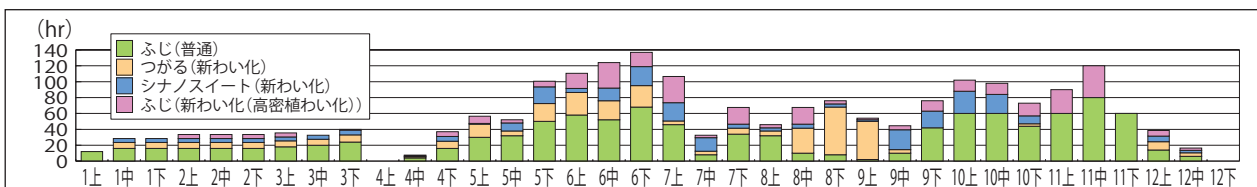


**労働力** 本人、雇用（ピーク時フルタイム1人）

売上	経営費	内 減価償却費	農業所得
10,450千円	7,767千円	1,482千円	2,683千円



**旬別労働時間（経営全体）** 合計 2,071時間



## 2 ぶどう専作

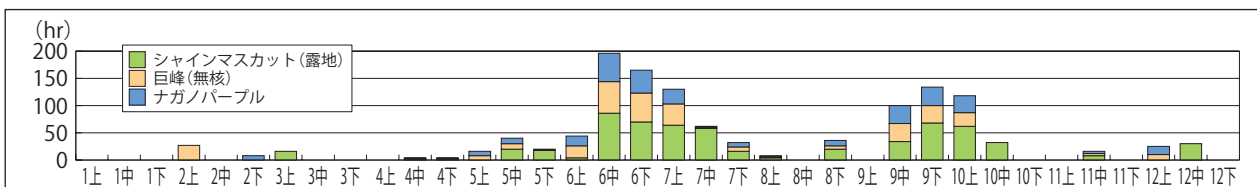
<b>経営面積</b>	<b>計 40a</b> (内、新植 20a)
内訳	
シャインマスカット	20a (成園を借地10a、借地に新植10a)
巨峰(無核)	10a (成園を借地)
ナガノパープル	10a (借地に新植)

**労働力** 本人、雇用（ピーク時フルタイム2人）

売上	経営費	内 減価償却費	農業所得
7,329千円	4,147千円	1,369千円	3,182千円



**旬別労働時間（経営全体）** 合計 1,263時間



### 3 夏秋きゅうり（露地）＋トマト（雨よけ）

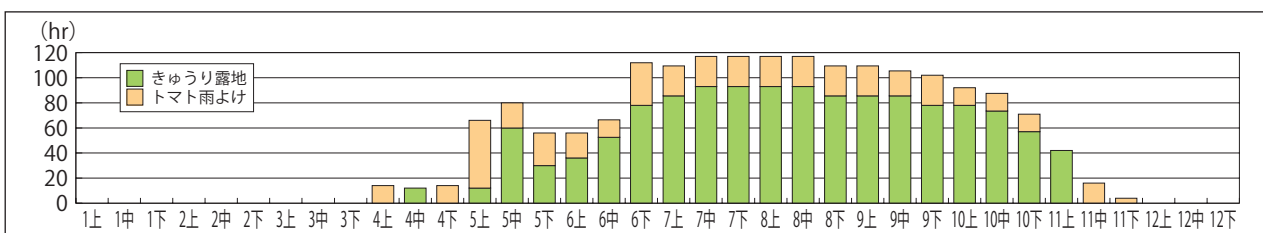
経営面積	計	25 a
内訳	夏秋きゅうり（露地）	15 a
	トマト（雨よけ）	10 a

労働力 本人、雇用



売上	経営費	内 減価償却費	農業所得
7,754千円	5,439千円	1,238千円	2,315千円

旬別労働時間（経営全体） 合計 1,793時間



### 4 アスパラガス

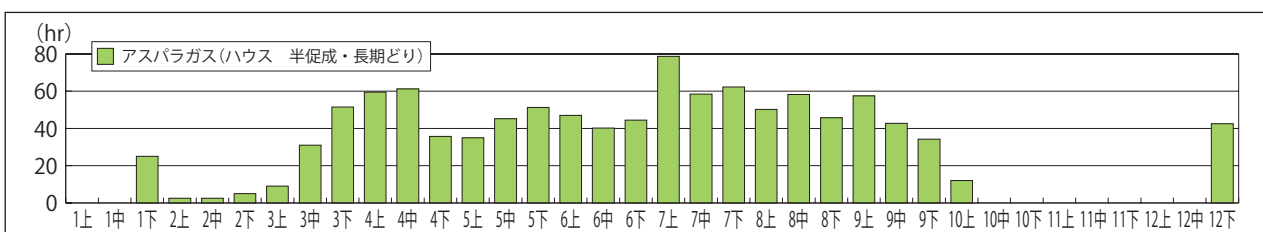
経営面積	計	25 a
内訳	※全てハウス栽培 ※半促成・長期どり作型	収穫期 3月上旬～10月上旬

労働力 本人、雇用



売上	経営費	内 減価償却費	農業所得
6,250千円	3,549千円	1,700千円	2,701千円

旬別労働時間（経営全体） 合計 1,089時間



#### 長野県の農家は冬の間何をしているの？

- ・畜産、施設菌茸、施設園芸などは年間作業がある。
- ・夏場に猛烈に働いて、冬はゆっくり、のんびり過ごすパターンが多い。
- ・冬はアルバイトもあり。スキー場や除雪などの仕事がある。
- ・冬の作業として、営農計画の作成、果樹では剪定、野菜・花の品目により育苗、施設・機械の整備、会計、営業などがある。
- ・研修や視察、地域の会議なども多い。

どう過ごすかは  
人それぞれ!

## 5 きく（施設+露地）

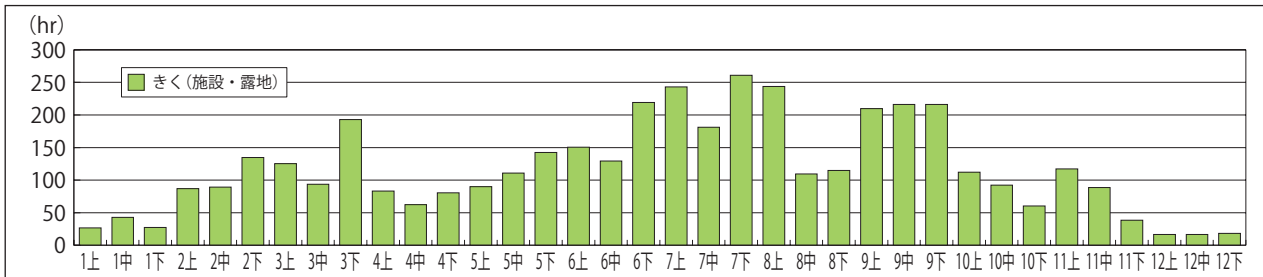
経営面積	計	50 a
内訳	施設 きく	25 a
	露地 きく	25 a
※施設・露地の組み合わせで6月下旬～10月出荷		
※電照栽培25a、加温なし		



労働力 本人、家族1、雇用（ピーク時フルタイム2人弱）

売上	経営費	内 減価償却費	農業所得
12,090千円	8,550千円	2,862千円	3,540千円

旬別労働時間（経営全体） 合計 4,245時間



## 6 トルコギキョウ+ストック

経営面積	計	30 a
作付延べ面積		45 a
内訳	トルコギキョウ 季咲き作型	15 a
	トルコギキョウ 抑制作型	15 a
	ストック 春切り作型	7.5 a
	ストック 秋切り作型	7.5 a

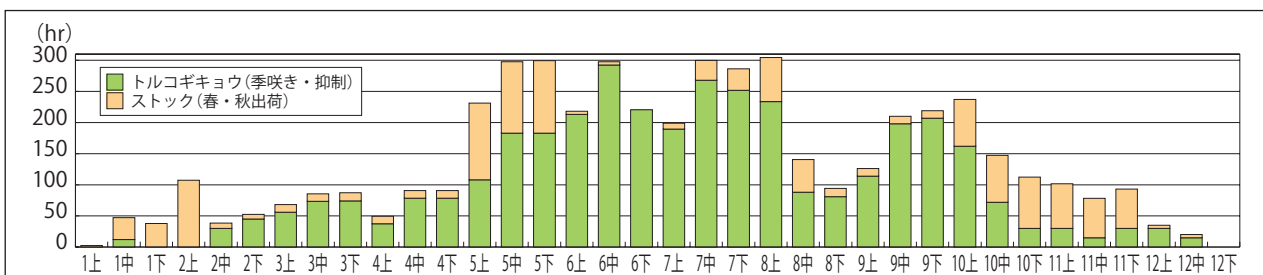
※全て施設栽培 内、加温面積6a  
 ※作型の組み合わせ トルコギキョウ季咲き→ストック秋切り  
 トルコギキョウ抑制→ストック春切り



労働力 本人、家族1、雇用（ピーク時フルタイム2人強）

売上	経営費	内 減価償却費	農業所得
16,241千円	12,745千円	3,116千円	3,496千円

旬別労働時間（経営全体） 合計 5,026時間



## ■ 主な初期投資

機 械 ・ 施 設 名	千円	りんご	ぶどう	きゅうり +トマト	アスパラ ガス	きく	トルコギキョウ +ストック
作業場兼倉庫 100㎡	4,200	●	●				
作業場兼倉庫 50㎡	2,100			●	●	●	●
トマト：パイプハウス (10a当たり)	7,442			●			
アスパラガス：パイプハウス (10a当たり)	5,385				●		
花き：パイプハウス (10a当たり)	7,843					●	●
野菜：ハウス内灌水装置 (10a当たり)	702			●	●		
野菜：露地灌水装置 (10a当たり)	120			●			
花き：ハウス内灌水施設 (10a当たり)	400					●	●
きく：電照施設 (10a当たり)	667					●	
トルコギキョウ：加温設備ほか (10a当たり)	2,833						●
冷蔵庫	1,250					●	●
スピードスプレー 600ℓ	3,960	●	●				
乗用草刈り機	762	●	●				
高所作業車 3m	957	●					
トラクタ20PS・ロータリ1.4m	2,123			●			
トラクタ15PS・ロータリ1.2m	1,586					●	●
マルチャー (アタッチ)	251					●	●
畦立て機 (アタッチ)	512					●	●
管理機	323			●	●	●	●
動力噴霧機	290			●		●	●
自走式スプレーヤ	738				●		
アスパラガス：選別機	315				●		
茎切断機	361					●	●
結束機	715					●	●
下葉取り機	172					●	
軽トラック	850	●	●	●	●	●	●
【りんご高密度植新植 (10a当たり)】							
トレリス	896	●					
スプリンクラー	475	●					
りんご苗木	600	●					
【ぶどう新植 (10a当たり)】							
ぶどう棚	1,480		●				
スプリンクラー	475		●				
ぶどう苗木	40		●				
【アスパラガス新植 (10a当たり)】							
アスパラガス苗	115				●		

### 【留意点】

- ・令和4年以降の資材価格の変動は考慮していないので、最新価格を確認すること。
- ・価額は全て新築・新品購入の場合。過剰な投資は絶対に避け、中古品の購入、空きハウスの活用、施設・機械の共同利用や賃借、補助金の活用などに最大限努めること。
- ・10a当たりで表示されているものは、栽培面積に応じて計算する。
- ・新植時には、別途肥料・資材等や上記以外の機械が必要となる。

## V 地域・農業のネットワーク

農村で生活をし、農業を行う上では、地域の皆さんとの付き合いが大変重要になります。農業に関する事業はもちろんのこと、公民館活動やお祭り、消防団への加入など積極的に参加するようにしましょう。

農業に関する仲間づくりはSNSを活用してもできますが、実際に会って話を聞くことが刺激にもなり、思いが直接伝わります。研修や親睦の組織がありますので、こちらにも積極的に関わらしましょう。

### 長野県農業士協会

『長野県農業士』とは、青年農業者に意欲と目標を持って農業に取り組んでもらうために、農業経営について高度な学識と実践力を有し、企業的農業経営者として期待される青年農業者を知事が認定する制度です。一定以上の農業経験を有する青年農業者が、講座を受講して事業計画を発表することで認定され、長野県農業士協会に加入できるようになります。加入していただくと県及び支部（地区）が開催する各種研修会・活動等に参加することができるようになり、地域を越えた同世代の農業者の仲間づくりができ、ネットワークが広がります。

### PALネットながの

県下全域の農業青年が集まる農業青年クラブです。地域の農業青年クラブに加入していなくても、個人加入できます。それぞれの経営に役立つ各種研修会を企画・開催をしています。県下全域から会員が集まるため、広範囲の情報交換が行えます。また、「明日の長野県農業を担う若人のつどい」を主催し、農業プロジェクト活動、意見発表を通じて農業青年の取り組みを県内外に発信しています。関東ブロック、全国農業青年クラブ連絡協議会（4Hクラブ）にも加盟しており、全国のエネルギッシュな農業青年と、交流の輪が広がります。

### 農業青年クラブ

市町村単位などで構成された、農業青年クラブがあります。直売イベントや食育への協力など、独自の活動を行っています。40歳代以下の会員で構成されていることが多く、同年代の青年同士で情報交換・交流が図られます。

### NAGANO農業女子

県内で農業を行う若い女性農業者をSNS等で緩やかにつないでいるネットワークの参加者。農業女子同士の交流や情報交換、マルシェ活動等を行っています。

### JA青年部

JAの組合員であれば、青年部に加入できます。市場との情報交換や先進地研修等、視野を広げる活動が行われています。

## VI 新規参入で就農されたみなさん

### 青木村 嶋津 勇輝 さん



#### 新規就農のきっかけ

大阪府出身。自然が好きで、高校卒業後、長野県川上村のレタス農家でアルバイトをしたのがきっかけで農業に興味を持つ。長野県農業大学校を卒業後、(有)信州うえだファームでの2年間の研修を経験。令和5年4月、ほ場が見つかったことから青木村で1ターン就農。



#### 研修・就農準備（就農前4年間）

- ・農業大学校で農業の基礎をしっかりと学ぶ
- ・研修中は、研修生同志の仲間づくり、ミニトマトやアスパラガスをはじめとする施設野菜の栽培技術の向上、自主性の向上を意識して取り組む

#### 就農3年目

- ミニトマト5a、アスパラガス10a、ほうれん草4a、ぶどう3a、水稻育苗約1,500枚
- ・1年目労力負担を改善するため、3年目には無理のない経営計画を念頭に、働き方を検討。週3～4日アルバイト雇用、90分ごとに休憩
  - ・丹精込めて栽培したおいしい野菜で消費者と生産者をつないでいくことが目標

### 茅野市 鈴木 紘平 さん・仁美 さん



#### 新規就農のきっかけ

登山をきっかけに長野県への移住を決意。仕事に限らず暮らし全体でやりたいことを実現する手段として農業を選択。現地視察会に参加しキク栽培に取り組む1ターン就農者が地域に定着している事例を知る。努力次第で独立経営が可能と判断し、2年間の里親研修を経て1ターン就農。(R元)



#### 研修・就農準備（就農前2年間）

- ・ベテランのキク農家の下で里親研修をし、露地キク・施設キクの栽培技術習得
- ・里親以外の農家も積極的に視察し、多角的にキク栽培技術を研究
- ・就農準備は早めに進め、中古農機などの確保に努める

#### 就農7年目

- キク80a（施設30a、露地50a）
- ・綿密な栽培計画に基づき、電照やシェードを活用した開花調節技術を定着させ、計画出荷と作業負荷の平準化を実現
  - ・生産基盤の安定化を進めるとともに、新たな販路開拓や高単価商品の開発にも着手
  - ・人手不足への対応として、施設のスマート化や省力化技術の導入を進めている
  - ・新規就農者の増加を目的とした団体「信州ちの就農LABO」を設立し、地域農業の発展にも取り組んでいる

## 松本市 上條 賢司 さん・静 さん



### 新規就農のきっかけ

法人就農した先で、独立就農を目指す先輩との出会い、また生涯の伴侶との出会いなど様々な出会いを通じて、妻の夢である独立した農家経営者になることを決意。

里親研修制度等を利用して、独立就農した。(R5)



### 研修・就農準備 (就農前3年間)

- ・きゅうり(施設栽培)の里親や近隣の農家さんの指導のもと、栽培技術、施設設置、農家経営ノウハウを習得
- ・松本新規就農者育成対策事業を活用して、農地やハウス、農業機械類、資金繰りの準備
- ・地域や行政、JA、家族などの人間関係構築

### 就農3年目

- きゅうり(施設栽培) 25a  
ハウス19棟、夫婦+家族+雇人7人
- ・経営発展支援事業を活用してハウスの増設
  - ・栽培技術向上による作業効率UP
  - ・人の雇用による労働負荷軽減
  - ・収量・品質の向上  
⇒所得の向上と家族の時間創出

## 高山村 小山 真吾 さん



### 新規就農のきっかけ

東京都出身で、かつてから興味があった農業を仕事にしたいという思いから一念発起。就農地以外も含め数回にわたる農業体験を通じて、出会った人の優しさ、山の眺望、果物のおいしさに感動し、高山村での1ターン就農を決めた。

2年間の長野県新規就農里親研修を修了し、令和4年4月に独立就農。



### 研修・就農準備 (就農前2年間)

- ・研修前に農業体験を重ね(計9回)、具体的な就農イメージを固める
- ・里親研修中は、里親や関係機関に希望する研修内容や就農ビジョンについて、具体的に相談
- ・研修1年目は作業の確認と記録を徹底、2年目は実践と就農準備

### 就農3年目

- ぶどう66a、りんご63a
- ・販売実績は、JA出荷55%、集荷業者37%、直売8%(個人直売5%、フリマアプリ3%)
  - ・就農時に必要な機械類は、農地の地主や知人から譲り受けた
  - ・目標は「人材(労働力)確保」、「新技術の導入による作業省力化・効率化」、「新品种・新作目への挑戦」

## VII 独立就農するにあたっての適性・知識チェックシート

このチェックシートは、「就農相談」でお聞きしている一般的な項目をまとめたものです。

この設問の中に、就農までに大切な事柄が詰まっていますので、最後までご覧いただき、できるだけ多くチェックが入るように、情報収集や検討を行いましょ。

また、個々の事情によっては設問が合わない場合も考えられますので、必ず長野県等が行う就農相談に参加して下さい。その際にはこの結果を持参してください。お持ちいただいた内容を基にして相談を進めます。

なお、このチェックは就農前の準備に対するアドバイスであり、あなたの就農を約束するものではありませんのでご承知ください。

No.	質 問	チェック
就農に対する適性	1 「農業を生涯の仕事とする」という、強い意欲と意志がありますか。	<input type="checkbox"/>
	2 農業は肉体労働です。健康・体力には自信があり、体を動かすことが好きですか。	<input type="checkbox"/>
	3 自然の生き物が好きですか。	<input type="checkbox"/>
	4 農業は繰り返しの作業が多い仕事です。コツコツと根気よく作業をやり抜くことは、苦になりませんか。	<input type="checkbox"/>
	5 他人とのお付き合いは、苦ししませんか。	<input type="checkbox"/>
就農の動機、知識	6 「就農」とは、会社をおこし経営者となるのと同じということを認識していますか。	<input type="checkbox"/>
	7 就農相談会に参加したり、インターネットや本・情報誌などを活用して、新規就農に関する情報を収集していますか。	<input type="checkbox"/>
	8 新規就農した先輩やベテラン農家に会って、体験談などを聞いた事がありますか。	<input type="checkbox"/>
	9 農業体験の場に参加した事がありますか。	<input type="checkbox"/>
	10 農作業のつらさや厳しさについては、体験されて知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	11 農業は多くの種類の作物や栽培方法など、様々なバリエーションがある事を知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	12 露地栽培と施設栽培、それぞれどのような栽培か知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	13 農家の平均的な1日の生活スタイルや、季節毎に異なる1日の過ごし方など、ある程度知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	14 農業は気象災害や病虫害などにより、収穫や収入が計画どおりにならない場合もある事を承知していますか。	<input type="checkbox"/>
情報収集等の事前準備	15 長野県の季節毎の気候や生活環境を経験・体感した事がありますか。	<input type="checkbox"/>
	16 あなたが農業を行うことについて、ご家族は、農業の素晴らしさと厳しさの両面を理解した上で、同意をされていますか。	<input type="checkbox"/>
	17 どのような農業経営を行いたいのか、作る作物の希望や栽培面積規模など、ある程度決まっていますか。	<input type="checkbox"/>
	18 希望する就農地や栽培したい作物が絞れている方は、なぜその場所で作物をつくりたいのかを説明できますか。	<input type="checkbox"/>
	19 希望の就農地の主な農作物や気候、立地、環境などの情報を調べましたか。又は栽培したい作物に適した気象条件などの情報を集めましたか。	<input type="checkbox"/>
20 自分の希望や目標を、今後、どの様な道筋や手順で実現していくのか、計画（イメージ）を持っていますか。	<input type="checkbox"/>	
21 栽培したい作物がどのくらい労働力が必要かや一人当りの栽培面積（上限の目安）を知っていますか。	<input type="checkbox"/>	



No.	質 問	チェック
情報収集等の事前準備	22 栽培したい作物の販売額が、およそいくらくらいか、所得はいくらになるか知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	23 農産物の販売について、どのような販売先があるか知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	24 就農希望地を選ぶにあたっては、家族で現地を訪れていますか。	<input type="checkbox"/>
	25 マニュアル車を運転できる自動車運転免許と、自家用車を持っていますか。	<input type="checkbox"/>
	26 農家・農業法人等で、栽培したい作物の技術と知識を身につけるための、本格的な研修（1年間以上）を経験していますか。あるいは研修予定が決まっていますか。	<input type="checkbox"/>
	27 就農希望地で就農にあたって親身になって支援してくれる世話役的な人がいますか。	<input type="checkbox"/>
	28 就農前の研修には、時間（期間）や生活費がどのくらい必要か知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	29 就農後、生計が成り立つまでに、およそどのくらい期間が掛かるか承知していますか。	<input type="checkbox"/>
	30 希望する条件に合った農地の確保が難しいことを知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	31 農地はどのように確保すればよいか、どこに相談すればよいか知っていますか。	<input type="checkbox"/>
研修等の準備状況	32 農地は借りて利用した方が良いか購入した方がよいかメリットデメリットなど知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	33 栽培したい作物には、どのような機械、設備などが必要で、購入するにはおおよそいくら掛かるか知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	34 就農のために資金がどの程度必要か、ご自分で計算し、どのように調達するのか、資金計画を検討しましたか。	<input type="checkbox"/>
	35 研修や就農のために、制度資金（借入金）等を利用する場合、保証人を引き受けてもらえる方はいますか。	<input type="checkbox"/>
	36 経営管理について一定の知識（複式簿記等）がありますか。農産物の販売先について計画やあて（マーケティング関連業者や、元の職場の同僚・友人・知人等のネットワーク活用など）がありますか。	<input type="checkbox"/>
	37 新規就農に当たり、国・県・市町村の支援制度や制度資金等について調べたことがありますか。	<input type="checkbox"/>
就農後の生活	38 就農に向けた営農資金としての自己資金の用意はありますか。	<input type="checkbox"/>
	39 農業経営が安定するまでの間、預貯金の取り崩しのほか、アルバイト等による収入を考えていますか。	<input type="checkbox"/>
	40 農業経営の拠点となる住居（住宅）を確保する際に、スペースや機能など何が必要か、また、住宅を確保する時に念頭に置くべきことを承知していますか。	<input type="checkbox"/>
	41 農村で生活する場合、地域の人たちとのコミュニケーションが大切なことは知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	42 集落の行事（消防団、お祭り、役員、川さらい）などには積極的に参加できますか。	<input type="checkbox"/>
有機農業	43 「有機農業」とは、どのような農業かを知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	44 有機農業は、どのように栽培が行われているか知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	45 有機栽培は、慣行栽培と比較すると、一般的に手間がかかり、大きな面積による経営が困難なことを知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	46 農地の確保が、慣行農業より難しいことは知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	47 有機農業を行う場合は、周辺農家の理解を得る事が重要な事を知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	48 有機農業は、販路の確保が重要です。販売先の目途はついていますか。	<input type="checkbox"/>
	49 販売時、「有機」を表示するためには「有機JAS」の取得が必要であることを知っていますか。	<input type="checkbox"/>
	50 有機農業の見学や体験をしたことがありますか。	<input type="checkbox"/>

このチェックシートのヒントは、「デジタル農活信州」に掲載していますので参考にしてください。

# VIII

## 長野県就農支援情報WEBサイト「デジタル農活信州」

<https://www.noukatsu-nagano.net/>



県、市町村、JA等が発信する就農支援情報を一元化し、わかりやすく情報発信！



じっくり読んでみて！大事なポイントがいっぱい！

相談会、セミナーなど最新イベント情報

市町村・JAごとの情報



「農ある暮らし」動画

農業でがんばる、先輩農業者インタビュー記事

# 長野県の就農相談窓口

## 長野県就農コーディネーター及び長野県農業大学校

長野県農政部農村振興課 担い手育成係	〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692の2 TEL 026-235-7243 E-mail noson-ninaite@pref.nagano.lg.jp	
長野県農業大学校	〒381-1211 長野市松代町大室3700 TEL 026-278-5211 E-mail nogyodai@pref.nagano.lg.jp	
長野県農業大学校研修部	〒384-0807 小諸市大字山浦4857-1 TEL 0267-22-0214 E-mail nodaikomoro@pref.nagano.lg.jp	

## 地域の就農コーディネーター

(所在地：各地の県合同庁舎内)

佐久農業農村支援センター 管内：小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町	〒385-8533 佐久市大字跡部65-1 TEL 0267-63-3167 E-mail saku-aec@pref.nagano.lg.jp
上田農業農村支援センター 管内：上田市、東御市、長和町、青木村	〒386-8555 上田市材木町1-2-6 TEL 0268-25-7156 E-mail ueda-aec@pref.nagano.lg.jp
諏訪農業農村支援センター 管内：岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村	〒392-8601 諏訪市上川1丁目1644-10 TEL 0266-57-2932 E-mail suwa-aec@pref.nagano.lg.jp
上伊那農業農村支援センター 管内：伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村	〒396-8666 伊那市荒井3497 TEL 0265-76-6842 E-mail kamiina-aec@pref.nagano.lg.jp
南信州農業農村支援センター 管内：飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、黍阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村	〒395-0034 飯田市追手町2丁目678 TEL 0265-53-0436 E-mail minami-aec@pref.nagano.lg.jp
木曽農業農村支援センター 管内：上松町、南木曽町、木曽町、木祖村、王滝村、大桑村	〒397-8550 木曽郡木曽町福島2757-1 TEL 0264-25-2230 E-mail kiso-aec@pref.nagano.lg.jp
松本農業農村支援センター 管内：松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村	〒390-0852 松本市大字島立1020 TEL 0263-40-1948 E-mail matsumoto-aec@pref.nagano.lg.jp
北アルプス農業農村支援センター 管内：大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村	〒398-8602 大町市大町1058-2 TEL 0261-23-6543 E-mail kita-aec@pref.nagano.lg.jp
長野農業農村支援センター 管内：長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村	〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 TEL 026-234-9515 E-mail nagano-aec@pref.nagano.lg.jp
北信農業農村支援センター 管内：中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村	〒383-8515 中野市大字壁田955 TEL 0269-23-0221 E-mail hokushin-aec@pref.nagano.lg.jp

## 「農ある暮らし」アドバイザー

長野県農ある暮らし 相談窓口 (運営：株式会社 産直新聞社)	〒396-0025 伊那市荒井3428-7 allaオフィスC TEL 080-4949-5937 E-mail noaru.nagano@gmail.com	
--------------------------------------	---	---

## 長野県新規就農相談センター 事務局

公益社団法人 長野県農業担い手育成基金	〒380-0826 長野市大字南長野北石堂町1177-3 J A長野県ビル4 F TEL 026-236-3702 E-mail ninaite@nagano-ninaite.or.jp	
------------------------	--	---

# 長野県農畜産物マップ

全国シェア第1位

- レタス**  
佐久・松本地域
- ズッキーニ**  
北信・佐久・松本地域
- セルリー**  
諏訪・松本地域
- 漬け菜(野沢菜)**  
北信地域
- ネクタリン**  
長野・北信・松本地域
- 干し柿**  
南信州・上伊那・北信地域
- プルーン**  
長野・佐久・北信地域
- くるみ**  
上田・長野・北信地域
- マルメロ**  
諏訪地域
- カーネーション**  
諏訪・佐久・上伊那地域
- トルコギキョウ**  
諏訪・長野・上伊那地域
- シクラメン**  
南信州・上伊那・北アルプス地域

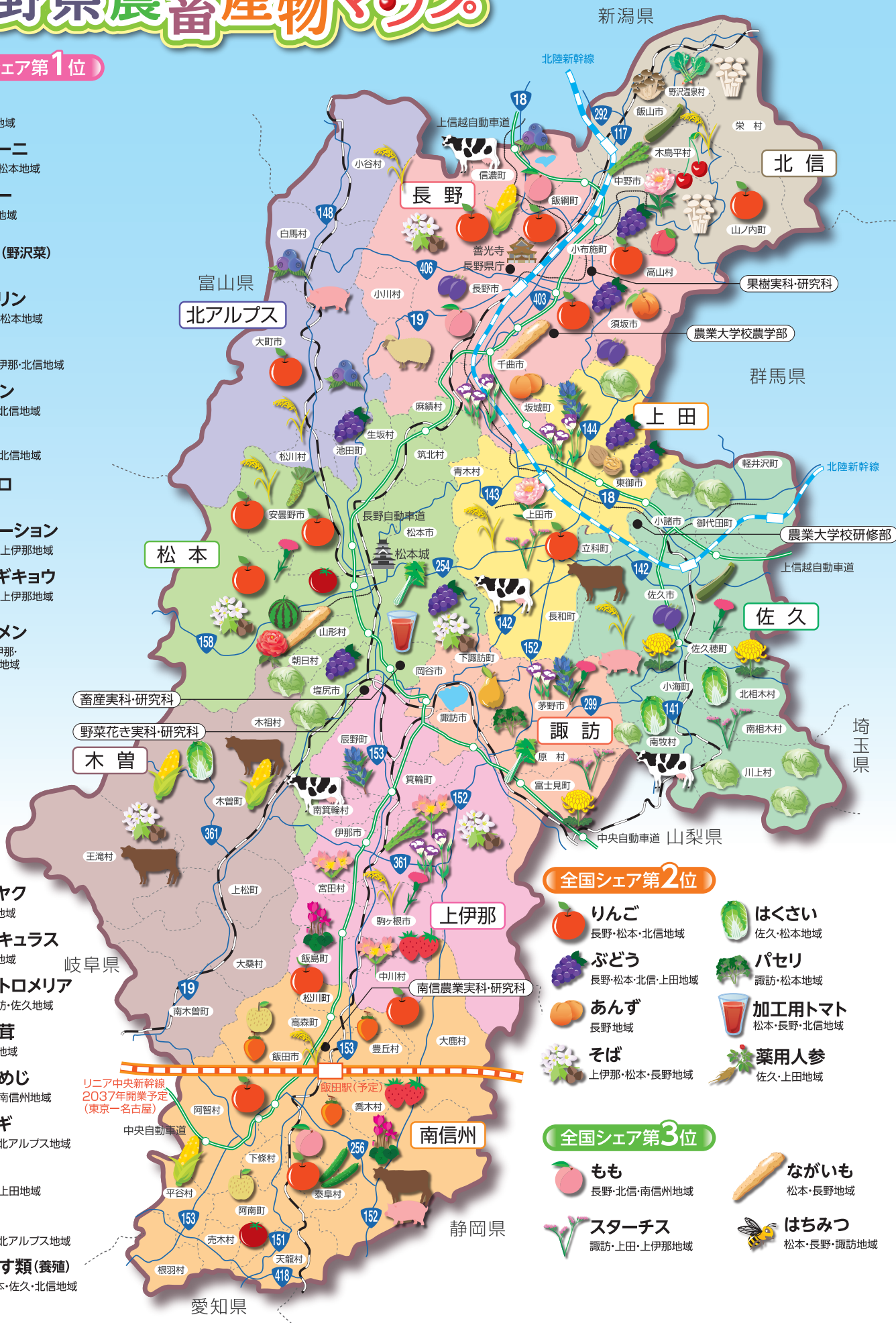
- シャクヤク**  
北信・上田地域
- ラナンキュラス**  
松本・諏訪地域
- アルストロメリア**  
上伊那・諏訪・佐久地域
- えのき茸**  
北信・長野地域
- ぶなしめじ**  
北信・長野・南信州地域
- エリンギ**  
北信・長野・北アルプス地域
- なめこ**  
北信・長野・上田地域
- わさび**  
松本・長野・北アルプス地域
- ます類(養殖)**  
松本・佐久・北信地域

全国シェア第2位

- りんご**  
長野・松本・北信地域
- ぶどう**  
長野・松本・北信・上田地域
- あんず**  
長野地域
- そば**  
上伊那・松本・長野地域
- はくさい**  
佐久・松本地域
- パセリ**  
諏訪・松本地域
- 加工用トマト**  
松本・長野・北信地域
- 薬用人参**  
佐久・上田地域

全国シェア第3位

- もも**  
長野・北信・南信州地域
- スターチス**  
諏訪・上田・上伊那地域
- ながいも**  
松本・長野地域
- はちみつ**  
松本・長野・諏訪地域



出典:「令和5年度 長野県農業の概要」(長野県農政部)、「2023 長野県の園芸畜産」(長野県農政部)、農林水産省統計資料など。令和3年産データ(一部令和元年産データ)。